業界の声

山梨県石油協同組合
専務理事　菅原 五男 氏

県内SS（サービスステーション）業界の現況は？

県内のSSを取り巻く環境は、ますます厳しい状況となっています。

夏場のガソリン需要最盛期であった8月は、連日猛暑が続いたにもかかわらず、販売量が前年同月比で10％減少しました。この需要減は、中東原油の高騰やドライバーの消費節約の動きの定着化による車の走行距離の落ち込み、また新車販売数が減少する中で低燃費車の増加等が要因となっています。

今後のSS業界は、販売数量の伸びが期待できないため、需要減に対応した採算販売を徹底し、経営基盤の強化に努めていく必要があります。

今後のSS業界は？

中国やインドなどの需要増に投機資金などが加わって急騰してきた原油価格も、先進国の景気後退、石油需要の減退傾向、また先物市場に対する監視が強化され、当面はアジアの指標原油であるドバイ原油で、1バーレル100ドル前後の現行水準で推移するものと思います。

今年のSS業界は、4月に暫定税率の失効による大幅な値下がりを見越した買い控えの反動や、5月の暫定税率復活を前に需要が増加する等の中で、記録的な価格上昇が続き、ドライバーに節約の動きが広がり、需要が減退しています。

このため、各SSは強い自立意識のもと、安値量販とシェア確保の販売競争から、適正な価格販売による経営持続を最優先とした採算の確保が重要となってきます。各SSは、消費者の理解を得て確実にこれを徹底すれば「流した汗が報われる業界」と信頼されると思います。

また、昨年度から当組合では、「中小企業人材確保推進事業」に取り組んでいます。本事業は、人材の確保と労働者の職場定着に係る雇用管理改善を推進する事業で、当業界が抱える人材確保問題等の面での改善を期待しています。